

2016 年 9 月 15 日

会員各位

日本内視鏡外科学会 医工学連携委員会

委員長 森川 利昭

小委員会担当 武中 篤, 瀧口 修司

医工学連携委員会からのお知らせ 1：困っていることアンケート

我々医療従事者は、日常の診療で様々な「困っていること」に直面します。例えば「こんな器械があったら便利なのに…」とか「この手術を長時間続けると疲れる…」など、様々な困った経験をお持ちではないでしょうか？

その解決手段（ソリューション）を考えることは、将来の医療機器の開発につながる重要なプロセスであり、将来の知財につながる重要な知的活動です。

より多くの外科医が「困っていること」つまりニーズを活かすことは、日本の企業が持っている独自の技術・材料（シーズ）を有効に活用する上でどうしても必要なことです。ニーズとシーズが適切に組み合わせることで革新的な医療機器を生み出す可能性があります。

そこで日本内視鏡外科学会医工学連携委員会では、「自身が今困っていること」、「他の外科医もおそらく困っていそうなこと」等のアンケートを行うことにしました。学会員のみなさまからのご意見を募集します！

優秀な「困っていること」は、29 回総会会期中に表彰させていただく予定ですので、ぜひふるってご応募ください。

（注）「困っていること」自体は我々医療従事者が共有するものであり、知的財産ではありません。しかし具体的なソリューションは知的財産にあたるため、アンケートの対象外となります。知的財産の可能性のあるものは、秘密が守られる「無料知的財産個別相談会」でご相談ください。

記

応募方法：日本内視鏡外科学会ホームページ 医工連携のページよりお申込みください。

<http://www.jses.or.jp/biomedical/questionnaire.html>

以上